



●巻頭インタビュー

経験者に学ぶ 定住外国人の就職 How To ～MIA日本語講座 就職懇談会を振り返って～



村上永花さん



名川デンカネシさん

「日本で働きたい!」

そんな希望を胸に、日々日本語学習に取り組んでいる海外出身者の方はかなりの数に上ります。MIAの日本語講座受講生のみなさんからも、そのような声は多く聞かれます。

そこで、宮城県国際交流協会では、「ニューカマーのための生活適応支援プログラム」の一環として、平成21年11月10日(火曜日)、「MIA日本語講座」を受講されているみなさんを対象に「就職懇談会」を実施しました。

当日は、就職活動の先輩として中国出身の村上永花さん(登米市在住/介護ヘルパー)とエチオピア出身の名川デンカネシさん(仙台市在住/ホテルルームメイキングスタッフ)をお招きし、就職に至った経緯、失敗談などを率直に語っていただきました。お二人には、日本語でお話をしていただきましたが、日本語学習途上の受講生のみなさんのため、中国語、韓国語、ベンガル語、インドネシア語の通訳者に入っていたこともあり、参加者のみなさんとも活発な意見交換ができました。

まず始めに体験談を話してくださったのは、わざわざ登米市から駆け付けてくださった村上永花さんです。

村上さんは、日本人男性との結婚のため11年前に中国東北部の遼寧省から来日しました。やがて同居している義母の介護のために、近くの公民館で主催する介護の研修を受講し、見事ヘルパー2級の資格を取りました。せっかくの資格を仕事として生かしたら、という義姉の勧めもあり4年前から市内の老人介護施設で働くようになりました。村上さんは、独学とは思えないほど流暢な日本語を話されますが、日々の業務でおたより手帳やケース記録に記入することで、書く力もすいぶん上達したそうです。また、日本社会の中では、親しき仲にも礼儀あり、ということわざを忘れてはいけなと、後輩に向けたアドバイスもしっかりしていただきました。

村上さんは、シフト制の勤務の合間にも町内会やPTAの役員として東奔西走の毎日を送っています。来日直後、お味噌汁の作り方さえわからず、ひとり台所で途方に暮れてしまったことなど、今では笑って話せるようになりました。

地域社会のかけがえのない一員としてはつつと生きている村上さんの姿は、参加者のみなさんの目に大きな憧れとして映ったことでしょう。

次に体験談を話してくださったのは、エチオピア出身の名川デンカネシさんです。名川さんは、ついこの間まで、MIA日本語講座を受講されており、参加者のみなさんにとっては文字通り先輩です。

名川さんは2年前、村上さんと同様、日本人男性との結婚のため来日しました。気候も文化も日本とは大きく異なるアフリカの大地からはるばる来日した名川さんにとって、この2年間は無我夢中の日々だったことと思います。そのような環境にありながらも、名川さんは果敢に就職活動に挑戦したのでした。知人の紹介に頼ることなくハローワークのドアを叩くところから始め、4社の面接に失敗し、5度目でようやく今の仕事に就くことができたそうです。彼女の

華奢な体と控え目な語り口からは、想像もできないパワフルぶりです。

仕事は、仙台市内のビジネスホテルでのルームメイキングです。

「4回も面接を経験したので、だいたい要領は掴めました。今の会社の面接では、なぜ、この仕事がしたいですかと聞かれたので、仕事をしなければ日本人の友達もできないし、日本語も上手にならないのでと答えました。」

この言葉通り、職場では同僚のみなさんと仲良くなり、仕事のあとはおしゃべりに花を咲かせているそうです。

名川さんは、現在も仕事の合間にMIA日本語ボランティアによるプライベートレッスンを続けています。なぜなら、今はアルバイトという立場の名川さんですが、日本語能力をもっと高め、将来的には美容関係の資格をもつキャリアワーカーとしてしっかりと働きたいという目標があるからです。

今回の参加者の誰よりも遠い国から来日した名川さんの頑張る姿は、日本語学習途上の参加者のみなさんにとっても奮起を促すものでした。終了後のアンケートでは、ほとんどの方が「日本語を学ぶことは何よりも基本的、かつ重要なことであることがわかった。」「自分も、もっともっと日本語を勉強しなくてはならないと気が引き締まった。」という感想を綴られていました。

就職活動に関する情報提供を目的に実施した今回の懇談会でしたが、図らずも日本語学習への意欲が向上するという思いがけない効果をもたらし、翌日からの日本語講座がますます熱を帯びるようになったことは言うまでもありません。

村上永花さん、名川デンカネシさん。

これからも、それぞれの夢を目指しながら、多くの「後輩のみなさん」にとって希望の星でいてください。



「ニューカマーのための生活適応支援プログラム」とは?

宮城での生活を始めたばかりの海外出身者の方々(ニューカマー)の生活適応を応援するプログラムです。これまでに、「保健・医療説明会」(協力:宮城県保健福祉部)「ごみ処理施設体験研修」(協力:仙台市環境局)、「防災について学ぶ会」(協力:気仙沼・本吉防災センター・唐桑半島ビジターセンター津波体験館)を実施しました。

(財団法人自治体国際化協会 平成21年度先導的施策支援事業)

このコーナーでは、県内の国際活動団体の2010年2月～3月の活動予定をご紹介します。

MIAイベントカレンダー

2010	S	M	T	W	T	F	S	3	S	M	T	W	T	F	S
2		1	2	3	4	5	6	3		1	2	3	4	5	6
7	7	8	9	10	11	12	13	7	7	8	9	10	11	12	13
14	14	15	16	17	18	19	20	14	14	15	16	17	18	19	20
21	21	22	23	24	25	26	27	21	22	23	24	25	26	27	
28								28	29	30	31				

※●はイベント開催予定日です。詳しい内容については以下でご確認ください。

アイコンの見方

主催

会場

時間

申し込み

参加費

電話番号

FAX番号

メールアドレス

2月 FEBRUARY

毎週土日

瑞巖寺ボランティアガイド

松島善意通訳者の会

瑞巖寺

10:00～15:00

不要

不要 (但し入場料は各自負担)

http://www.geocities.jp/matsushimagw/

6日

国際協力セミナーin岩沼

(独)国際協力機構東北支部(JICA東北)、(財)宮城県国際交流協会

岩沼市民会館中ホール

13:30～16:00

要予約

無料

022-275-3796

022-272-5063

mia@k2.dion.ne.jp

Atelier Québec ワークショップ

《カナダ・ケベック州》(カナダのフランス語圏)

仙台日仏協会・アリアンス・フランセーズ

仙台日仏協会・アリアンス・フランセーズ

仙台市青葉区本町2-8-10 4F

18:00～19:30

電話・FAX・メールにて要事前予約

※定員になり次第締切

会員2,600円/非会員3,300円

(変動する場合がございます。詳しくは弊社ブログにて告知いたします。)

022-225-1475

022-225-1407

contact@alliancefrancaise-sendai.org

6～7日

第32回松島かき祭り

松島かき祭り実行委員会

松島海岸グリーン広場

6日/10:00～14:00

7日/9:00～14:00

022-354-2618

022-354-6196

info@matsushima-kanko.com

7日

Chandeleur クレープ・パーティー

仙台日仏協会・アリアンス・フランセーズ

未定 当校のブログをご参照ください。

http://alliancefrancaise-sendai.blog.spot.com/

15:00～

電話・FAX・メールにて要事前予約

※定員になり次第締切

未定 当校のブログをご参照ください。

http://alliancefrancaise-sendai.blog.spot.com/

022-225-1475

022-225-1407

contact@alliancefrancaise-sendai.org

第29回「日中友好新春の集い

&吉林省植林写真展」

宮城県日中友好協会・各地区協会・仙台地区中国学生会

泉文化創造センター(イズミティ21)

1F展示室

12:00～15:30

電話・FAX・E-mail

留学生・専門学校生・日本人学生500円/人

022-274-3811

jcfa-miyagi@roze.plala.or.jp

7～16日

ネパールの優しさと笑顔に出会う

第6回ネパール交流ツアー

日本・ネパール文化交流倶楽部

ネパールの家庭料理「カトマンドウ」内

事務局まで

278,000円(一般料金)、268,000円

(会員料金)<成田空港発着>

022-256-7851

japanxnepal@gmail.com

9日

仙山の三十三観音堂専用御朱印帖作製教室

NPO法人 楽遊ネットワーク宮城

NPO法人 楽遊ネットワーク宮城事務局

10:30～13:00

電話・Fax・メール

3,000円(印刷済み本文・和紙等全材料費込み)

022-261-9869

022-261-0546

eikaiwa.usaclub@dream.ocn.ne.jp

13日

2009国際理解ワークショップin石巻

～コーヒーカップの向こう側～

地域・国際貢献サークルフォーラム、JICA東北

石巻ルネサンス館 マルチ交流ホール

13:30～16:30

要予約 先着25名

無料

022-275-5540(JICA宮城デスク佐藤)

022-272-5063

jicadpd-desk-miyagiken@jica.go.jp

サロン・フランコ・ジャポネ《家庭と子供の教育》

仙台日仏協会・アリアンス・フランセーズ

仙台日仏協会・アリアンス・フランセーズ

仙台市青葉区本町2-8-10 4F

15:30～16:30

(17:00まで延長の場合あり)

電話・FAX・メールにて要事前予約

※定員になり次第締切

● 会員100円/非会員500円

(変動する場合がございます。詳しくは弊社ブログにて告知いたします。)

022-225-1475

022-225-1407

contact@alliancefrancaise-sendai.org

14日

ひなまつり交流会～日本文化を体験しよう!～

日本伝統文化の会、(財)仙台国際交流協会

仙台国際センター2階

レセプションホール桜

12:00～15:00

● 前売券200円、当日券300円

※生け花券100円(先着35名)、振袖着付け券200円(先着20名)別途チケットが必要となります。

※前売券は1/13(水)～2/13(土)まで仙台国際センターで販売いたします。

022-265-2480

022-265-2485

hariu@sira.or.jp

17日

申請取次行政書士による外国人のための入管

手続無料相談会

宮城県行政書士会

仙台市青葉区役所 4階市民相談室

13:00～16:00

電話での受付もOK。または、予約なしでもOK。

無料

022-261-6768

022-276-2258

18日

黒いマリアの不思議

アフリカ・セミナーの会

仙台国際センター研修室

10:00～12:00

不要

700円

022-362-7907

20日

シネ・クラブ 「髪結いの亭主」

仙台日仏協会・アリアンス・フランセーズ

仙台日仏協会・アリアンス・フランセーズ

仙台市青葉区本町2-8-10 4F

15:40～18:15

電話・FAX・メールにて要事前予約

● 会員100円/非会員300円

022-225-1475

022-225-1407

contact@alliancefrancaise-sendai.org

27日

仙台市災害時言語ボランティア公開研修会

財団法人仙台国際交流協会

仙台国際センター3階 小会議室B

(仙台市青葉区青葉山)

14:00-16:30
仙台国際交流協会 企画事業課
無料
022-265-2480
022-265-2485
plan@sira.or.jp

貝山幸子のシャンソン講座
「サントワ・マミー」 Sans toi m'amie
仙台日仏協会・アリアンス・フランセーズ
仙台日仏協会・アリアンス・フランセーズ
仙台市青葉区本町2-8-10 4F
16:00~17:30
電話・FAX:メールにて要事前予約
※定員になり次第締切
3000円
022-225-1475
022-225-1407
contact@alliancefrancaise-sendai.org

28日
DVD上映会「アフガンに命の水を
〜ベジャワール会26年目の闘い」
ベジャワール会をみやぎから応援する会
エルパーク仙台セミナー室
10:00~12:00
不要
無料
070-6954-2366
022-256-9055
pemiyagi@gmail.com

第9回いわぬま日本語スピーチコンテスト
主催:岩沼市民交流協会
主管:日本講座いわぬまアイビー
岩沼市民会館中ホール
13:00~17:00
電話
0223-22-1111
内線645(市民交流協会)
0223-24-1225(いわぬまアイビー)
0223-22-2143(市民交流協会)
0223-24-1225
(電話兼用)(いわぬまアイビー)
siminsankaku@city.iwanuma.miyagi.jp
(市民交流協会)
kawaramutomo@yahoo.co.jp
(いわぬまアイビー)

第3回栗原市国際交流フェスティバル
栗原市国際交流協会
栗原市若柳「ドリームパル」
10:00~14:00
200円
0228-32-6789

4日
仙台的三十三観音堂専用御朱印帖作製教室
NPO法人 楽遊ネットワーク宮城
NPO法人 楽遊ネットワーク宮城事務局
10:30~13:00
電話・FAX:メール
3,000円(印刷済み本文と紙等全材料費込み)
022-261-9869
022-261-0546
eikaiwa.usaclub@dream.ocn.ne.jp

7日
第10回「中国帰国者を励ます新春の集い」
中国帰国者を励ます会
(事務局:宮城県日中友好協会)
仙台大観音プラザ
(仙台市泉区実沢中山31-7)
12:00~14:00
電話・FAX・E-mail
協力者(事務費を含む)3,500円/人
中国帰国者(本人)無料ご招待
付添(一人目無料 二人目から1,000円/人)

022-274-3811
jcfa-miyagi@rose.plala.or.jp

17日
申請取次行政書士による外国人のための入管
手続無料相談会
宮城県行政書士会
仙台市青葉区役所 4階市民相談室
13:00~16:00
電話での受付もOK。または、予約なしでもOK。

無料
022-261-6768
022-276-2258

24日~4月2日
第29回地球の子ども通信国際交流事業「日本
の小学生による香港ホームステイプログラム」
地球の子ども通信
022-376-5382



JICA宮城デスクからのお知らせ

※JICA=独立行政法人国際協力機構(開発途上国に対する総合的な二国間援助機関で、
技術協力・有償資金協力・無償資金協力を行っています。)

コーヒーカップの向こうにある世界をのぞいてみませんか?

「2009国際理解ワークショップin石巻~コーヒーカップの向こう側~」

あったか~いコーヒー。この時期にうれしいですね。でも、コーヒーを飲むとき、その生産や流通の背景を考えることはありますか?ワークショップ「コーヒーカップの向こう側」を通して、世界貿易の問題点を把握し、今自分たちができることは何かを考えてみましょう!

●講演

「フー太郎の森基金」理事長 新妻香織氏

●ワークショップ

地域・貢献サークル フォーラム

日時:2010年2月13日(土)13:30~16:30

会場:石巻市ネッサンス館 マルチ交流ホール
(宮城県石巻市開成1番地35)
0225-92-1313

■要予約

(定員になり次第、締め切らせていただきます)

■参加費無料

■コーヒープレイクがありますので、マイカップ
持参のご協力をお願いします。

■お申し込み、お問い合わせ先
JICA宮城デスク佐藤

TEL 022-275-5540 E-mail: jicadpd-desk-miyagiken@jica.go.jp

JICA東北ホームページ <http://www.jica.go.jp/tohoku/>



第9回いわぬま 日本語スピーチコンテスト

岩沼市やその近隣に住む外国籍住民が日頃思っていること、感じていることを直接耳にし交流することで、国際社会、多文化共生社会を身近に感じてみませんか?観覧希望の方々も歓迎します。会場のみなさんにも審査員としてご参加いただけます。

日時:2010年2月28日(日)13:00~17:00

会場:岩沼市民会館 中ホール
岩沼市里の杜1丁目2-45
0223-23-3434

プログラム内容

・外国人(10名程度、公募)による日本語のスピーチ
・コンテスト参加者による交流タイムとステージ発表(アトラクション)
・会場の外ではフェアトレード(物品販売)、岩沼日本語講座学習者による自国紹介ブースなど

入場料:無料

主催:岩沼市民交流協会

主管:日本語講座いわぬまアイビー

問合せ:岩沼市民交流協会事務局

0223-22-1111(内線645)

日本語講座いわぬまアイビー

代表 川村智子

0223-24-1225

※スピーチコンテストに参加を希望する外国籍
住民もこちらまでお問い合わせください。

多文化 な トピック

ハーグ条約(国際的な子の奪取の民事上の側面に関するハーグ条約)

2009年8月、岐阜県に住む日本人女性の夫のチェコ人が、長男(5歳)を海外に連れ出したまま所在不明となる事件が起こり、メディアでも大きく取り上げられた。また、逆に海外で外国人と結婚した日本人女性が夫の了解をとらずに子どもを日本に連れ帰るケースも増えていて、国際的な批判を浴びている。国際結婚の増加とともに、夫婦不和や離婚に至るケースも増え、上記のような子の連れ去りが双方向で起こっているのが現状だ。

ハーグ条約では国際結婚した父母の一方が子供を無断で連れ去った場合、それまで住んでいた国に戻す手続きを定めている。欧米の多くの国がこの条約を批准しているのに対し、日本は未批准である。そのため、上記の案件も外務省としては有効な手段をとれずにいる。もし、日本が批准していた場合、当該国に協力を求め、この長男を探し出し、日本に帰還させるという道が開ける。

日本の未批准については、国外からの批判の声や、また日本国内においても賛否両論がある。日本を含め、アジアや中東諸国が批准しない理由の一つには、欧米とアジア・中東の離婚および離婚調停における制度上の違い、価値観の違いなどがあげられる。

いずれにせよいかなる被害者は子どもである。そして悲しいかな、こうした事態もまた国際化の副産物の一つには違いない。



無料託児サービスあります！「国際協力セミナーin岩沼」世界の子どもと教育を開催します！

「幸せてなに？」岩沼市出身で、青年海外協力隊としてコロンビアで主にストリートチルドレンへの教育に携わり、2009年に帰国された渡邊寛子氏の他、世界各地で子どもたちに対する支援をしてきた方々を講師に迎え、「世界の子どもと教育」をテーマに開催します。自分の子どもに健やかに、幸せに生きてほしいと願う気持ちは万国共通。この究極の質問の答えを一緒に考えてみませんか？

■講師(五十音順)

石原邦子氏(アマニ・ヤ・アフリカ理事長)
大槻秀樹氏(元青年海外協力隊、モンゴル、空手道)
小畑九子氏(元JICAボランティア調整員)
渡邊寛子氏(元青年海外協力隊、コロンビア、ストリートチルドレン支援)

- 主催/(独)国際協力機構東北支部(JICA東北)、(財)宮城県国際交流協会
- 共催/岩沼市、岩沼市教育委員会
- 後援/岩沼市民交流協会
- 開催日時/2010年2月6日(土)13:30~16:00
- 開催会場/岩沼市民会館 中ホール
(岩沼市里の杜1丁目2-45 0223-23-3450)
- 予約の有無/要予約
- 参加費/無料
- 無料託児サービスがあります。
子育て中のお父さん、お母さん、どうぞお気軽にご参加ください。
- お申し込み、お問い合わせ先 MIA

平成21年度MIA外国人支援通訳サポーター登録前&ブラッシュアップ合同研修会

昨年12月9日(水)、エル・ソーラ仙台にてMIA外国人支援通訳サポーターを対象とした研修会を開催しました。この研修では、「保健・医療」「生活相談」の通訳サポーター、「子どもサポーター」および災害時通訳ボランティアの新規登録希望者と既登録者が平日にもかかわらず30人ほど集まりました。

午前の基礎講座では、県国際政策課より現在の宮城県内の多文化共生施策についての説明に続き、MIAスタッフからMIAの多文化共生事業の紹介と各通訳サポーター・ボランティア事業についての概要説明がありました。お昼を挟んで午後はふた手に分かれまして。新規登録希望者の方々は、MIA

オリジナル制作の「通訳サポーター鈴木さんの場合」というロールプレイ(DVD)をご覧いただき、通訳時に心がけるポイント、問題点についてのディスカッションとワークショップを行いました。

既登録者は英語、ハングル、中国語およびスペイン語に分かれて、「保健・医療」通訳サポーターが自主的に行っている学習会の模擬体験を行いました。テーマは「新型インフルエンザ」です。途中から新規登録希望者も加わり、各言語とも「模擬学習会」でありながらも熱のこもったロールプレイが進められました。

サポーターの声

伊東仁さん (MIA日本語サポーター)



3年ほど前、MIAから大崎地区の日本語サポーターの登録を勧められて登録しました。登録した2ヵ月後、加美町の英国人ALTのサポートの依頼があり彼が帰国するまで10ヶ月間サポートをしました。その後中米ベリーズ出身とアメリカ人ALT、2人のサポートをしました。彼ら自身の日本語の表現を大切にしたいので、日本語で書いてもらった日記を添削するという方法でサポートしています。日本語サポートを始めてからMIAの日本語サポーターのワークショップにも参加しました。教え方や諸先輩方の経験談などをお伺いできてとても参考になりました。日本語を教えるのはとても難しいと思います。初級レベルの場合はどうしても英語での説明が多くなりますが、ある程度日本語ができる場合はなるべく日本語だけでサポートしようと心がけています。参考書やテキストは「日本語の教え方ハンドブック」、「日本語初歩」、「はじめての授業キット」などを使っています。「みんなの日本語」や「Japanese for Busy People」なども持っています。外国の方が日本の文化も含めて日本を理解してもらえる手助けができればと思います。日本語サポートはとてもやりがいのある活動だと思います。

「MIA日本語サポーター」とは…

日本語を学習したい外国の方等のために個人指導という形で日本語を教え、外国の方等の快適な生活を支援することにより、県内の草の根交流を推進していくものです。18歳以上で当協会の趣旨に賛同していただける方であれば資格などの制限は一切ありません。登録を希望される方は、どうぞ遠慮なくお問い合わせください。

ライブラリー

ライブラリーのコーナーで紹介されている図書は全て貸し出し、または当協会図書資料室で閲覧可能です。

コミュニティ通訳入門 多言語社会を迎えて言葉の壁にどう向き合うか…暮らしの中の通訳

著作:水野真木子 出版:大阪教育図書

現在、日本に在住する外国人は220万人にのぼり、それに伴い司法、医療、教育、生活全般などの場面において、「言葉の壁」が大きな問題として浮上しています。「コミュニティ通訳者」とはこうした場面で言葉の橋渡しをする人のことです。

PART1【在住外国人と「コミュニティ通訳」】では、在住外国人の現状、他国のコミュニティ通訳の状況、コミュニティ通訳一般についてやその仕事や意義について概括されています。PART2【各分野の通訳】では、司法通訳、医療通訳、学校通訳、行政通訳、その他として、カテゴリーごとに説明がなされています。また、通訳者を利用する側にとって、通訳者とはどのような業務なのか、どのような点に注意すべきかについても言及されています。著者は通訳者にとってより働きやすい環境が作られるきっかけとして本書を記したとしていて、MIA外国人支援通訳サポーターの方々にも一読をお勧めします。



賛助会員募集

MIA(財)宮城県国際交流協会は、県民参加の幅広い国際交流を進め、人と人との輪を広げていくために、皆様の御理解と御協力を求めています。

●賛助会員の資格

本協会の趣旨に賛同し、運営活動に協力していただける個人や団体(国際活動団体、企業、機関)など

●賛助会員の区分と年会費

個人会員/1口 3,000円
団体会員/1口 10,000円

●賛助会員の特典

◎協会機関紙「みやぎの国際情報」(倶楽部MIA)の定期送付(年6回)

◎「MIA多言語かわら版」(日・英・中・韓・葡)の定期送付(年6回)

◎当協会主催のイベントや各種講座の案内及び参加費の減免

◎個人会員については協会と提携する旅行会社が指定する国内外の旅行代金の一部割引 (株)ジェイティービー仙台支店 (株)ジェイティービー東北石巻支店 東北海外旅行(株) 富交観光サービス(株) (株)日本通運 仙台旅行センター

●入会方法

◎本協会あて御連絡ください。

所定の申し込み用紙と振り込み用紙を送付いたします。



倶楽部 MIA vol.47

編集発行 財団法人 宮城県国際交流協会

〒981-0914

仙台市青葉区堤通雨宮町4番17号

宮城県仙台合同庁舎7階

TEL 022(275)3796

FAX 022(272)5063

E-mail mia@k2.dion.ne.jp

URL http://www.h5.dion.ne.jp/~mia